

事務事業名	道路維持修繕費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等を常に良好な状態に保つため、パトロールや市民要望によって確認した道路等の危険箇所や破損等について、早期に補修対応を行うことで安全を確保する。																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 市内を南北2地域に分けてパトロールや市民要望箇所の調査を行った。 2 道路補修に必要な原材料を購入し、早期に道路補修の対応を行うことで、道路の安全を確保した。 3 道路の維持管理に必要なとなる車両の老朽化に伴い新車を購入した。																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 67,372 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な内容
		需用費	6,516 千円	パトロール車等の燃料費、点検整備費
		役務費	30,692 千円	樹木伐採手数料、ダンプトラック車の自賠責保険等
		使用料及び賃借料	786 千円	作業用機械の賃借料
		原材料費	21,753 千円	アスファルト合材、コンクリート製品、安全柵等
		備品購入費、公課費等	7,625 千円	ダンプトラックの購入、自動車重量税等

  

財源内訳	R3年度 支出済額 67,372 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	67,372 千円	

  

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	令和3年度
常時勤務職員※	18.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.50人工
合計	19.10人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト 支出	行政費用 A	0	0	291,138	235,658				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	236,831	233,830				
	事業費(支出済額)			64,785	67,372				
	償還金利息			0	0				
	人件費合計(①+②+③)	0	0	172,046	166,458				
	①常時勤務職員等の給与等			162,306	158,685				
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0				
	③退職金相当額			9,740	7,773				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	54,307	1,828				
	①減価償却費			0	0				
	②退職給与引当金繰入額			54,307	1,828				
	③不納欠損額			0	0				
	④その他 ( )			0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		0.00	429,317	0.00	433,060	669.10	435,121	536.85	438,968

  

成果実績	指標名	目標	単位		実績	単位	
	上記指標名の設定ができない理由	日常的なパトロールの実施や道路補修に必要な原材料を購入する費用であり、指標の設定ができない。					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 苦情要望処理の流れを現状の紙ベースの処理から電子化へ変更することにより、事務効率化を図っていくもの。	中
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路施設等管理費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等の維持補修にかかる費用及び使用する光熱水費等の経費により、道路施設等の適切な管理を行う。																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 維持補修 エレベーター、エスカレーター、照明灯等の道路施設等の補修、適切な管理を行った。 2 光熱水費 道路施設に必要な光熱水費及び通信費、使用料や賃借料等の支払いを行った。 3 街路樹植樹更新工事 植樹樹撤去10箇所																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳															
	支出済額	需用費	258,330 千円		施設修繕、電気代、上下水道代												
	271,373 千円	役務費	3,792 千円		電信電話料、火災保険料												
		使用料及び賃借料	5,962 千円		専用回線使用料、電話機・ファックス賃借料等												
		工事請負費	3,143 千円		街路樹植樹更新工事												
旅費等		146 千円		各種協議に伴う旅費等													
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳															
	支出済額	分担金・負担金	17,371 千円														
	271,373 千円	使用料・手数料															
		国庫支出金															
		県支出金															
		その他 ( )															
一般財源	254,002 千円																

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	3.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	3.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	609,336	512,542	285,739	289,906			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	605,759	513,900	318,993	298,652			
		事業費(支出済額)	437,125	348,683	262,273	271,373			
		償還金利子	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	168,634	165,217	56,720	27,279			
		①常時勤務職員等の給与等	160,423	155,397	53,124	25,984			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	349	0			
		③退職金相当額	8,211	9,820	3,247	1,295			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,577	-1,358	-33,254	-8,746			
		①減価償却費	3,279	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	298	-1,358	-33,254	-8,746			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他 ( )	0	0	0	0			
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1419.31	429,317	1183.54	433,060	656.69	435,121	660.43
成果実績	指標名	目標	単位		単位		単位		単位
	実績		単位		単位		単位		単位
上記指標名の設定ができない理由		日常管理に必要な電気・水道等の経費や、突発的な道路施設の維持補修を行う事業であり、指標の設定ができない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	一部見直し
今後の方針	道路照明灯のLED化については、民間のノウハウを活用したエスコ事業により早期に実施していくもの。

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路維持管理委託業務費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	03	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等の清掃、道路施設の保守点検などの日常的な維持管理、舗装の穴埋めおよび陥没補修等を委託することにより、道路等を安全で快適に利用できるようにする。(清掃委託、保守点検委託、応急補修委託、街路樹剪定委託)																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 清掃委託 9件 2 駅前公共施設(昇降機等)等の保守点検、保守管理委託 11件 3 道路の応急補修委託 4件 4 街路樹の管理、剪定委託 10件																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳														
	支出済額	費目					支出済額(千円)					主要内容				
	593,216	委託料					593,216 千円					清掃委託、保守委託、応急補修委託、街路樹委託				
	千円															
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳														
	支出済額	費目					支出済額(千円)									
	593,216	分担金・負担金					3,338 千円									
	千円	使用料・手数料														
		国庫支出金														
		県支出金														
	その他( )															
	一般財源					589,878 千円										

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	599,175	614,891			
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	590,124	616,095			
	事業費(支出済額)			561,939	593,216			
	償還金利息			0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	28,185	22,879			
	①常時勤務職員等の給与等			26,562	21,793			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			1,623	1,086			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	9,051	-1,204			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			9,051	-1,204			
	③不納欠損額			0	0			
	④その他( )			0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	1377.03	435,121	1400.77	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位
	上記指標名の設定ができない理由	道路等を日常的に維持管理する事業であり、指標の設定ができない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路改修舗装費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路利用者の安全や円滑な通行環境を確保するため、老朽化が進んでいる道路舗装の計画的な点検、打換や、劣化箇所の適切な補修など道路舗装の維持管理を行う。																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 舗装打換工事 石川下土棚線ほか37路線 延長 6,346m 2 調査委託 FWD調査委託 3 舗装等の施設修繕 287件																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容
	847,162 千円	工事請負費	594,080 千円	工事による舗装打換等
		需用費	247,979 千円	修繕による舗装打換等
		委託料	5,097 千円	FWD調査委託
旅費		6 千円	講習会等出席のための旅費	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	847,162 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	110,061 千円	
		県支出金		
その他 (市債)		298,800 千円		
一般財源	438,301 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	7.90人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	7.90人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	896,753	827,814	912,544	916,386									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	896,109	827,740	914,086	916,680									
		事業費(支出済額)	814,201	745,131	838,925	847,162									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	81,908	82,609	75,161	69,518									
		①常時勤務職員等の給与等	77,920	77,699	70,832	66,217									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	3,988	4,910	4,329	3,301									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	644	74	-1,542	-294									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	644	74	-1,542	-294									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他 ( )	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2088.79	429,317	1911.55	433,060	2097.22	435,121	2087.59	438,968					
成果実績	指標名	藤沢市道路舗装修繕計画	目標	6.3	単位	km	6.4	単位	km	3.5	単位	km	3.6	単位	km
			実績	4.3	単位	km	3.7	単位	km	4.3	単位	km	3.6	単位	km
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路改修舗装費(繰越分)										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	道路利用者の安全や円滑な通行環境を確保するため、老朽化が進んでいる道路舗装の計画的な点検、打換や、劣化箇所の適切な補修など道路舗装の維持管理を行う。 社会資本整備総合交付金の追加交付に伴って打換工事を前倒しで実施する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 舗装打換工事 藤沢村岡線 延長187m						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容
	22,706 千円	工事請負費	22,706 千円	工事による舗装打換
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	22,706 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	8,200 千円	
		県支出金		
	その他(市債)	7,300 千円		
	一般財源	7,206 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.20人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.20人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	0	25,070			
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	0	24,466			
	事業費(支出済額)				22,706			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	1,760			
	①常時勤務職員等の給与等				1,676			
	②会計年度任用職員の報酬等				0			
	③退職金相当額				84			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	0	604			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				604			
	③不納欠損額				0			
	④その他( )				0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	0.00	435,121	57.11
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位
	藤沢市道路舗装修繕計画			km	km	km	km	3.6
備考								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路施設改修事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4442

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	老朽化が進む道路施設について、安全で円滑な交通の確保や適正な管理を行うため、専門家による定期点検を実施するとともに、点検結果等に基づき計画的に道路施設の修繕、更新、長寿命化等の取組を実施する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 路面下空洞調査委託(169km) 2 門型標識定期点検委託(2基) 3 路面簡易評価業務委託(20km) 4 大庭トンネル非常用施設等改修工事(警報表示版、制御装置、受信制御機一式) 5 藤沢市内道路照明灯更新工事(40基) 6 藤沢駅南口エレベーター改修工事(1基) 7 辻堂駅他昇降機遠隔監視システム更新工事(カメラ交換、ユニットシステム更新 一式) 8 藤沢駅南口デッキ軒天材改修工事(57㎡)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容
	135,067 千円	工事請負費	105,116 千円	大規模維持補修工事
		委託料	11,112 千円	建設事業関係委託
		需用費	16,497 千円	施設修繕費、印刷製本費
役務費		1,760 千円	道路照明灯点検結果入力作業	
	その他	582 千円	旅費、使用料及び賃借料	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	135,067 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	4,900 千円	
		県支出金		
その他(市債)		81,500 千円		
一般財源	48,667 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	3.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	3.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	203,309	227,460	175,531	171,577		
		(1)現金を伴う支出(千円)	202,018	227,439	177,049	166,746		
		事業費(支出済額)	177,927	203,142	158,259	135,067		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	24,091	24,297	18,790	31,679		
		①常時勤務職員等の給与等	22,918	22,853	17,708	30,175		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	1,173	1,444	1,082	1,504		
		(2)現金を伴わない支出(千円)	1,291	21	-1,518	4,831		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	1,291	21	-1,518	4,831		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他( )	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	473.56	429.317	525.24	433.060	403.41	435.121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
上記指標名の設定ができない理由		道路施設の点検・補修等を目的とした事業であるため、指標の設定が困難である。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路施設改修事業費(繰越分)										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4442

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	老朽化が進む道路施設について、安全で円滑な交通の確保や適正な管理を行うため、専門家による定期点検を実施するとともに、点検結果等に基づき計画的に道路施設の修繕、更新、長寿命化等の取組を実施する。社会資本整備総合交付金の追加交付に伴って翌年度に予定していた委託を前倒し実施する。また、保守点検の結果から早期に部品交換が必要となったことや、早期の再稼働要請等に伴い、エスカレーター改修工事を実施する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 道路照明灯点検委託(187基) 2 鶴沼歩行者専用道エスカレーター改修工事(1基) 3 六会日大前駅他2駅エスカレーター改修工事(六会日大前駅2基、湘南台駅2基、辻堂駅4基)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		主要内容
	64,688 千円	委託料	9,743 千円		道路照明灯の点検
		工事請負費	54,945 千円		エスカレーター改修工事
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	支出済額	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
	64,688 千円	分担金・負担金			1.00人工
		使用料・手数料			短時間勤務職員(再任用・任期)
		国庫支出金	4,800 千円		0.00人工
		県支出金			合計
その他( )				1.00人工	
一般財源	59,888 千円		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
				会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	18,092	74,997			
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	16,583	73,488			
	事業費(支出済額)			11,885	64,688			
	償還金利息			0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	4,698	8,800			
	①常時勤務職員等の給与等			4,427	8,382			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			271	418			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	1,509	1,509			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			1,509	1,509			
	③不納欠損額			0	0			
	④その他( )			0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	41.58	435,121	170.85	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位
	上記指標名の設定ができない理由	道路施設の点検・改修を目的とした事業であるため、指標の設定が困難である。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	橋りょう維持修繕費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	05	細目	001	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路施設のうち、橋りょう利用者の安全を確保するため、老朽化の進んでいる施設の維持修繕等を行う。																
対象	1. 個人		市民													438,968	人
根拠法令等	法律等		道路法														
事業実施内容	1 橋りょう小規模修繕 8件 2 橋りょう維持に関する役務 2件 3 小規模高欄改修工事 1件(宮ノ下橋) 4 橋りょう点検技術者育成に関する研修負担金 5 橋りょう維持修繕事業事務経費																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 12,127 千円	事業費節別内訳		支出済額 (千円)		主要内容	
		旅費	36	千円	工場検査等の旅費		
		需用費	5,098	千円	橋りょう修繕		
		役務費	982	千円	排水樹の清掃、塗膜成分分析等		
		工事請負費	5,940	千円	高欄補修工事		
負担金補助及び交付金	71	千円	橋りょう点検研修参加の負担金等				
財源内訳	R3年度 支出済額 12,127 千円	事業費節別財源内訳		支出済額 (千円)			
		分担金・負担金					
		使用料・手数料					
		国庫支出金					
		県支出金					
		その他 ( )					
一般財源		12,127	千円				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	12,383	14,495	15,990	17,709			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	13,997	14,491	15,991	17,407			
		事業費(支出済額)	9,178	9,631	11,293	12,127			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,698	5,280			
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,427	5,029			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	235	289	271	251			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,614	4	-1	302			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	-1,614	4	-1	302			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		28.84	429,317	33.47	433,060	36.75	435,121	40.34	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位	目標	単位	実績	単位
	上記指標名の設定ができない理由	橋りょうの維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	橋りょう改修費								担当課	部課名	道路河川部道路維持課					
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	05	細目	001	説明	02	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	橋りょうの耐震化を進め、災害に強い街づくりの推進を図る。 道路法に基づく定期点検や、修繕計画に基づく補修工事を実施し、利用者の安全と施設の長寿命化を図る。 老朽化により部分的に傷んだ橋りょうや、現行基準に適合しなくなった橋りょうの部分改修工事を行う。						
対象	1. 個人	市民			438,968	人	
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 橋りょう定期点検委託 19橋 2 耐震化関連委託 2件(鶴沼歩行者専用道跨道橋、弁天橋) 3 長寿命化修繕計画関連委託 1件(大庭大橋) 4 六会日大前駅西口デッキ点検委託 5 橋りょう耐震化工事 1橋(新藤沢跨線橋) 6 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく補修工事 12橋 (城下橋、大平橋、石名坂歩道橋、新藤沢跨線橋、石川岡田橋、東橋、御所ヶ谷橋、円行新橋、石川陸橋、町屋橋、天神橋、大庭大橋)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容
	360,324 千円	委託料	38,293 千円	定期点検(19橋)、その他委託(4件)
		工事請負費	322,031 千円	耐震化工事(1橋)、補修工事(12橋)
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
360,324 千円	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	360,324 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	115,717 千円	
		県支出金		
その他(地方債)		206,800 千円		
一般財源	37,807 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	262,872	343,937	280,169	379,107			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	258,461	345,426	280,177	378,803			
		事業費(支出済額)	234,370	325,989	261,387	360,324			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	24,091	19,437	18,790	18,479			
		①常時勤務職員等の給与等	22,918	18,282	17,708	17,602			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	1,173	1,155	1,082	878			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,411	-1,489	-8	304			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	4,411	-1,489	-8	304			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		612.30	429,317	794.20	433,060	643.89	435,121	863.63	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位				
	指標名	実績	単位	実績	単位				
上記指標名の設定ができない理由		橋りょうの維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	橋りょう架替事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	06	細目	001	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	神奈川県が実施している引地川総合治水対策特定河川事業の進捗にあわせ、引地川に架かる六会橋の架替と、蓼川に架かる蓼中橋の架替を行い、水害のない安全で安心して暮らせる環境を確保する。						
対象	1. 個人	市民				438,968	人
根拠法令等	法律等	河川法、道路法					
事業実施内容	1 小規模修繕 2 蓼中橋確定測量委託 3 六会橋架替事業負担金(地質調査) 4 蓼中橋架替工事実施に伴う家屋補償						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		8,139 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>常時勤務職員※</td> <td>1.60人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.60人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人	令和3年度	常時勤務職員※	1.60人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	1.60人工
	令和3年度	常時勤務職員※	1.60人工									
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工										
	合計	1.60人工										
	費目	支出済額(千円)	主要内容									
需用費	759 千円	小規模修繕										
委託料	2,366 千円	蓼中橋確定測量										
負担金補助及び交付金	218 千円	六会橋架替事業に伴う負担金										
補償補填及び賠償金	4,796 千円	蓼中橋架替工事実施に伴う家屋補償										
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		8,139 千円								
	費目	支出済額(千円)										
	分担金・負担金											
	使用料・手数料											
	国庫支出金											
	県支出金											
その他(地方債)	100 千円											
一般財源	8,039 千円											

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	行政費用 A	159,378	124,386	168,969	22,522
	(1)現金を伴う支出(千円)	157,980	122,862	170,485	22,219
	事業費(支出済額)	143,525	103,425	156,392	8,139
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	14,455	19,437	14,093	14,080
	①常時勤務職員等の給与等	13,751	18,282	13,281	13,411
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	704	1,155	812	669
	(2)現金を伴わない支出(千円)	1,398	1,524	-1,516	303
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,398	1,524	-1,516	303
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	

市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	371.24	429,317	287.23	433,060	388.33	435,121	51.31	438,968
---------------------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	-------	---------

成果実績	指標名	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	神奈川県での河川改修の進捗に合わせて実施する事業であり、指標の設定ができない。	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------